

グラスストップ



グラスストップ



グラスストップは、道路などの
法面に設置するだけで簡単に
軽量の土留を妨げることが
できます。又、石畳風の
テクスチャーが周囲と調和の
とれた景観を創り出します。

maruji
CORPORATION

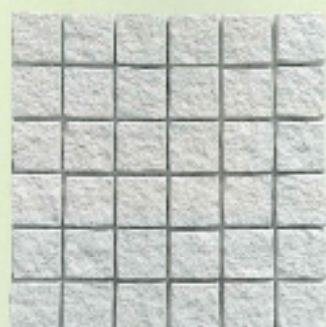


NETIS CG-990006-A

道路や河川・軌道などの管理者にとって雑草の繁殖は悩みのタネ!

毎年繰り返される除草作業など維持費の負担も大変です。

これらの問題を解消するために開発されたグラスストップは、法面に設置するだけで簡単に雑草の生育を妨げるだけでなく、石畳風テクスチャーが周囲と調和した景観を保ちます。又、降雨による表層侵食を防ぐなど法面保護にも効果があります。



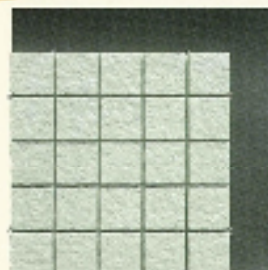
■小石タイプ



■互貼りタイプ

■ブロック標準規格:600mm×600mm×30mm 重量:約24kg/枚

NEW グラスストップ 500-J



ブロックの底面に雑草抑止シート、側面に連結用ステンレスの輪を一体化した500mm角のニュータイプです。



*ブロックの色は特注色仕様です。

■ブロック標準規格:500mm×500mm×30mm 重量:約18kg/枚

カラーサンプル

※特注の色調になりますので詳しくはお問合せ下さい。



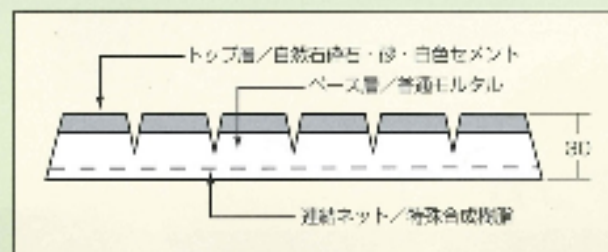
■ホワイト(標準色)



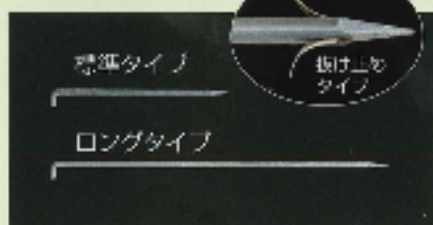
■アースカラー(標準色)



■特注色別:濃いグレー



アンカー釘



標準タイプ

長型タイプ

ロングタイプ

■標準タイプ:直径8mm L=250mm

■ロングタイプ:直径8mm L=500mm

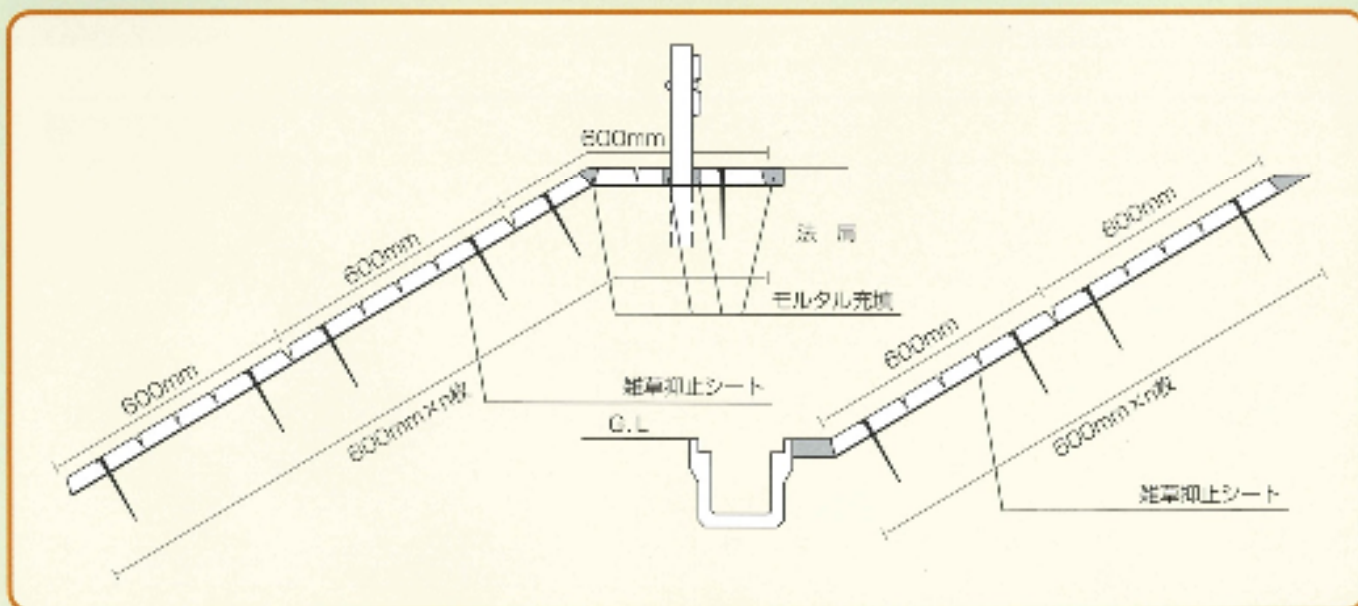
■仕様/溶接亜鉛メッキ HDZ 35

●アンカー釘は、L=250mmを標準とし、現場状況に応じて抜け止めタイプをご採用ください。●アンカー釘はブロック1枚当たり2本を標準とします。●道幅の仕様があまり長くない場合は、アンカー釘を横置き、500mmのロングタイプ内にてください。●切り土・盛土の状況に対応可能です。

雑草抑止シート



透水性・通気性はそのままに、雑草の根が貫通するのを防ぐ二層構造のシートです。



施工手順

1 法面の整正

施工する法面部分の整形及び雑草の除去を行います。グラスストップには柔軟性があるので、施工面に多少の起伏があっても据え付けの際には問題ありませんが、沈下するなどした場合は填圧してください。



2 雑草抑止シートの貼り付け

専用の雑草抑止シートを施工する法面に貼り付けますが、構造物との接合部には隙間のないように敷き結めてください。尚、シートの上に土埃や土砂がある場合は必ず除去してください。雑草抑止効果を低下させる場合があります。

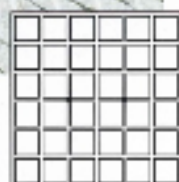
3 グラスストップの設置

雑草抑止シートの上にグラスストップを法面の一番下になる位置を決めて、下割から嵌め込みます。意図として隙間のないように据え付け、シートが露出しないようにしてください。



4 アンカーの打ち込み

ある程度の枚数を据え付け、目地通りをチェックした後、専用のアンカー釘を打ち込み固定します。1枚あたり2本のアンカー釘を打ち込みますが、比較的勾配の急な法面には3~4本の釘を打ち込みます。



■アンカー釘
打ち込み位置例

5 天端処理

現場状況に応じて、天端などの処理を行います。折れ曲がり部分と隙間が5mm以上ある場合や、構造物との接続部には必ず充分にモルタル充填を施してください。



6 仕上がり・完成